



今月の話題

- 地震工学通年研修 2021-2022 開講
- 新しい研修生の紹介 2021-22
- 中南米地震工学研修開講
- 第17回世界地震工学会議の開催について

地震工学通年研修 2021-2022 開講

国際地震工学センター 管理室長 山田 高広

今年も新型コロナウイルスの世界的感染という厳しい状況の中、若手研究者や技術者を対象とした地震工学通年研修の開講式がリモートで開催(10月5日(火))され、約1年間の研修がスタートしました。

今回は、13ヶ国から20名が、地震学、地震工学、津波防災の3つのコースに分かれ、それぞれの専門性を考慮した講義を受講しています。

研修生一人一人にとって、充実した研修となるよう、スタッフ一同、努めて参ります。また、研修生が、出来るだけ早く来日を果たし、日本での生活も楽しんでもらえることを願っております。

この研修を支えてくださる関係者の皆様におかれましては、引き続き、よろしくお願い致します。



開講式(国地講堂)



開講式(Zoom)

研修データベース

IISENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

E ラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

地震データベース







2011年3月11日東北地方太平洋沖地震










地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

新しい研修生の紹介 2021-22

地震学(S)グループ (6名)			
1		エルサルバドル	ビネダ オルティス ケヴィン エンリケ 環境資源庁 地質部 災害観測・天然資源課 / 地震学技術者
2		フィジー	ムシ サウラ 土地・鉱物資源庁 地震学部 / 技術補佐員
3		インドネシア	プラタマ コヒュティ ナスラル 気象気候地球物理庁 地震工学部 地球物理学・電気信号課 / 職員
4		インドネシア	ラトリ アルディラ ダマヤンティ プルナマ 気象気候地球物理庁 地震・津波警報部 / 職員
5		インドネシア	ウィジャヤ アンガ 気象気候地球物理庁 地震工学運営部 / 職員
6		フィリピン	シンボリオ 上ム カルロ エンリケス フィリピン火山・地震研究所 科学・技術部 / 研究助手

建設工学(E)グループ (9名)			
1		アルジェリア	アイラト アリ スリーマン ナシム フワリー・ブーメディエン大学 土木工学部 構造・材料学系
2		バングラデシュ	バウル インドラジット クマール 住宅ビル開発研究所 土質力学・基礎工学部 / 研究技術者
3		ブータン	テンジン クンザン 文化庁 文化遺産保護課 / 技術者
4		エルサルバドル	カンボス カランサ エウヘニア グアザル サンサルバドル構造工学コンサルティングサービス / 技術者、構造デザイナー
5		ガーナ	フォードゥル ベンジャミン オセイ ガーナ地質調査機構 地震・ジオハザード / 地震学者
6		ネパール	クエバ リベラ アマン ハイロ 日本-ネパール地震防災センター 構造部 / 助教授
7		モザンビーク	ダコスタ オリベラ ヴェトリニ マリア デ リラ 地質学研究所 地震学・ジオハザード部 / 事務補助官
8		トンガ	レジェール ヴィクトリーナ ステファニー ノディス [ヴァンキ] 公共施設庁 ビル管理サービス部 防災復興事務 / 主任
9		トンガ	マヌ 上ム シアレ 土地・天然資源庁 天然資源課 / 地震学補佐






論文募集

IISEE Bulletin は、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。



津波防災(T)グループ (5名)			
	コロンビア	サンチェス エスコバル 且ナルド エフレソ	国防庁 海洋総局 / 研究者
	インドネシア	バンダザラン シディク ハルゴ	気象気候地球物理庁 サウムラキ施設 / 地球物理学観測官
	インドネシア	プトラ ヨギ マハディカ ウンコロ	気象気候地球物理庁 第三地方地震センター / 地震解析官/地震学官
	インドネシア	ウィディアルソ アグス	気象気候地球物理庁 地震・津波センター / 地震学官
	パヌアツ	トーリウ マクレガー オラ	気候変動局 気象・ジオハザード部 / 気象予報士

中南米地震工学研修開講

国際地震工学センター 管理室長 山田 高広

IISEE では、新型コロナ過により 2020 年度と 2021 年度の中南米地震工学研修を完全リモートで実施しています。参加研修生は建築担当の行政官 1 名を含む 12 名が参加しており、参加国は、チリ(1)、コロンビア(1)、ドミニカ共和国(2)、エクアドル(1)、エルサルバドル(2)、ニカラグア(4)、ペルー(1)、の 7ヶ国となります。

研修は 10 月 12 日(火)に、開講式を完全リモートにより開催し、スタートしました。

開講式では、JICA 筑波センター渡邊健所長と建築研究所緑川光正理事長が歓迎の挨拶を、ニカラグアのバルデビア マチャド ラミロ ホセさんが研修生を代表して挨拶を行いました。



JICA 筑波 渡邊所長



建築研究所 緑川理事長

連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお誘い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp
<http://iisee.kenken.go.jp>

バックナンバーは 下記をご覧下さい。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

本研修は、中南米地域での耐震建築の普及や将来の地震被害の軽減に貢献することを目的として平成26年度から実施されています(これまでの研修修了者数は、11ヶ国から92名(うち建築担当の行政官は7ヶ国から13名))。



ニカラグアのラミロさん

中南米地震工学研修:

<https://iisee.kenken.go.jp/japanese/?p=latin>

第 17 回世界地震工学会議の開催について

国際地震工学センター長 小豆畑 達哉

第 17 回世界地震工学会議(17WCEE)が、9 月 27 日から 10 月 2 日にかけて仙台市にて開催されました。WCEE は 4 年に 1 度開催される世界最大の地震工学に関する国際会議です。本来は、昨年 2020 年に開催される予定でしたが、新型コロナウイルスの世界的感染のため、本年に延期されました。会議形式も、対面とオンラインでの発表を組み合わせたハイブリッド形式となりました。

国際地震工学センターからは、会場にて、国際地震工学研修に関する出展を行いました。出展の様子は、国際地震工学センターの Facebook を見て頂ければと思います。Facebook の記事には、国際地震工学センターのホームページからアクセスできます。

また、ユネスコ IPRED と共同で、2つのオーガナイズドセッションを開催しました。一つは、"Contribution to the Sendai Framework"で、後の一つは、"Comparison of Building Seismic Codes Worldwide"です。第一のセッションにおいては、横井シニアフェローが発表を行い、あとのセッションにおいては、筆者が発表を行いました。今回の 17WCEE での討議結果については、IPRED の将来の活動に反映させていくことになっております。

IISEE 国際地震工学研修: <https://www.facebook.com/IISEE.Japan/>

17WCEE: <https://www.17wcee.jp/>